



関 中 学 校 だ よ り

学校評価特別号 令和 5 年 2 月 14 日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tyky.ed.jp/>

令和4年度 より良い学校づくりアンケート 保護者・生徒・教員の平均値の比較

実施日 令和 4 年12月

対象者 保護者(204 人 回答率 42.5%) 生徒(423 人 回答率 87.0%) 教職員 (21人)

点数振分 そう思う 4 点 、 ややそう思う 3 点 、あまりそう思わない 2 点 、そう思わない 1 点

評価項目		平均値		
		保護者	生徒	教職員
設問 1	関中は、教育方針や重点目標を家庭に伝えている。			3.3
設問 2	関中は、教育方針や重点目標を達成すべく努力している。	3.1		
設問 3	教職員は、互いによく協力していると感じる。	3.1	3.5	2.6
設問 4	教員は子どもたちのために意欲的に教育活動に取り組んでいる。		3.6	
設問 5	教員は、学校で起こった諸問題について迅速に適切に対応している。	3.2	3.4	3.1
設問 6	関中は、校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っている。	3.1		3.2
設問 7	関中は、学校図書館やコンピュータ室などの施設・設備を活用している。	2.6		3.1
設問 8	関中は、教室や廊下、特別教室などの環境整備が行き届いている。	2.8		2.7
設問 9	教員は、授業を分かりやすく工夫し教えている。	2.9	3.4	3.1
設問 10	教員は、ＩＣＴ機器やタブレットを授業で活用している。	2.9	3.4	3.4
設問 11	教員は、個々の生徒の学習指導に熱心である。	3.0	3.6	3.1
設問 12	教員は、学校の様子や学習状況などを保護者に伝え、子どもの学力等を適切に評価している。	3.0	3.4	3.1
設問 13	通知表のつけ方を理解している。		3.4	
設問 14	教員は、道徳の時間を大切に、道徳の指導に力を入れている。	3.0	3.4	2.9
設問 15	生徒は、読書に積極的に取り組んでいる。	2.4	3.1	3.2
設問 16	生徒は、学校行事を楽しみにし、積極的に参加したいと考えている。	3.3	3.4	3.5
設問 17	生徒は、生徒会活動、部活動、ボランティア活動などに熱心である。	3.0	3.1	3.1
設問 18	関中は、集団生活をする上での基本的生活習慣・善悪の判断・社会生活のルールなどが身に付くように指導している。	3.2	3.5	3.2
設問 19	関中は、望ましい勤労観や職業観を育てる指導を行っている。	3.0		3.2
設問 20	関中は、生徒の健康・安全・食に関する指導を適切に行っている。	3.2	3.4	3.1
設問 21	生徒は、充実した学校生活を過ごし、成就感や達成感を得ている。	3.1	3.1	3.0
設問 22	関中は、家庭との連絡等、意思疎通を図るよう努力するとともに、保護者がいつでも相談できるようになっている。	3.1		3.1
設問 23	関中は、授業公開など学校を公開するための努力をしている。	3.3		3.3
設問 24	授業公開・学校行事・保護者会等には、積極的に参加しようと考えている。	3.1		2.9
設問 25	学校から配布された資料を、家庭で子どもの指導に生かしている。	2.8		2.7
設問 26	関中の教育活動に、保護者として支援・協力している。	2.8		3.0
設問 27	あなたは、あいさつをしたり、学校のルールを守ったりしている。		3.5	
設問 28	関中は、いじめ防止について適切な指導を行っている。	3.0		3.4
設問 29	あなたは、いじめや仲間はずれをせず、相手の立場を尊重している。		3.6	
設問 30	あなたは、将来の進路（夢や希望）について考えている。		3.0	
設問 31	関中は、小中一貫教育を、関町北小、石神井台小とともに進めている。	3.0		3.2

今回のアンケートへのご協力をありがとうございました。ここですべてのご意見にご返答することはできませんが、分析と方策をお伝えします。

＊ 学習指導に関し

設問4・9・10・11・12・13

教科担当が行う、基礎的な学習を深めたい希望者を対象とした朝や放課後の補習教室と、地域の方が行う、学校生活になじみにくい生徒を主な対象とした個別対応の地域未来塾をより一層充実させていきます。

学習用タブレットに入っている、学習支援システム「ラインズ e ライブラリ アドバンス」は、小学校1年生から高校入試問題まで対応できるものです。一人一人の生徒が得意としている分野、苦手としている分野など自分のペースで取り組める形になっています。

授業内におけるタブレットの活用頻度は、教科における指導方法や指導内容によって異なってきます。より良い方法を検討していきます。

合理的配慮として、黒板の書き写しが苦手な生徒には、タブレットのカメラ機能を活用出来るようになっていきますので、教科担当に遠慮せずに申し出てください。

＊ 道徳・進路・特別活動に関して

設問14・15・16・17・19・30

関中学校としましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動が大きく制限される中でも、極力活動や公開を行う事を目的として行ってきました。地域の方を講師としてお招きして行われたキャリア教育の実施など、生徒の健康、感染防止を第一に考えつつ、少しずつでも実施できる内容を見つけて行いました。

行事を通して、小学校までは勝ち負けにこだわっていたが、中学校に来てからは協力して行事を行う楽しさを学んだなど、生徒の個と集団における考え方や行動の仕方など様々な成長の様子が見られています。

読書(設問15)に関しては、保護者の方の数値が低いことから、家ではほとんど本を開かない生徒が多いと予想されます。様々な場で本に親しむように成長してくれることを願っています。

＊ 学校生活に関して

設問5・18・20・27・28・29

全体を通して、生徒の数値が最も高く、充実している様子がうかがえます。

校内で起こる様々な問題に対して、可能な限り迅速に対応しています。その際、学校の経営方針でもある、教師による決めつけを行わず、一人一人の生徒を大切に、温かくも厳しい生徒が成長するような生活指導を行っています。

また、失敗(=経験)を重ねることで、人は成長することを学び、失敗を恐れず挑戦できる学校であることを教職員と共に再確認し、生徒に学びと経験の場を提供していきます。

【その他】自由意見より

＊ 部活動の数に関しては、現状維持を基本としています。

教員の異動に伴い、新入部員の募集を行うことができない場合もあります。

＊ スキー移動教室の宿泊日数に関しては、学校裁量ではなく、教育委員会裁量となります。

＊ アンケートの項目等に関しては、次年度以降の検討課題とさせていただきます。

＊ 施設面における学校の安全性に関しては、日々の点検など、さらに注意を払って行います。

＊ 自転車通学に関しては、一切認めていません。公共の交通機関でお願いいたします。

＊ 教師の言動に関しては、教育公務員としての在り方を忘れないよう指導していきます。

【アンケートについて】

今回のアンケート調査は、紙からの移行期でもあり回答率は昨年度よりも向上しています。

さらに、向上するよう回答しやすいものなど工夫をしていきます。

「何かございましたら、いつでも学校にご連絡またはご来校ください。」